

校長先生の日記⑩



ドレミパイプの演奏を披露してくれました

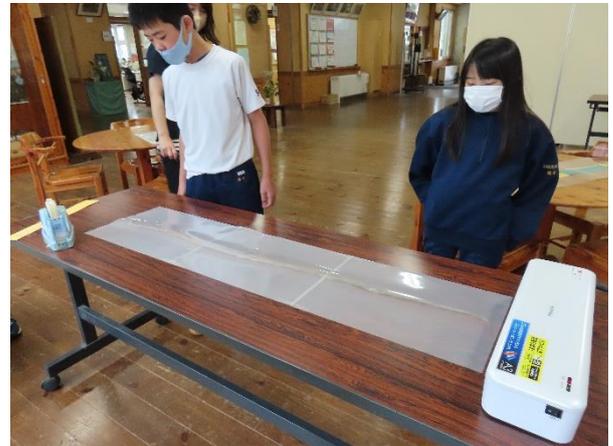
2年生が「ドレミパイプ」という楽器の演奏を披露してくれました。初めてこの楽器を手にした時間に偶然居合わせたのですが、勝手にたたくわ、チャンバラを始めるわで、大丈夫かな？と心配になりました。しかしそこから担当の先生は、目的意識を持たせ、グループに分けてそれぞれ目標を決めて練習し、そもそも楽譜がないのでオリジナルで作りと試行錯誤の末、発表に至りました。息を合わせて演奏する姿は、初めて手にした時には想像できなかったものでした。子どもたちの満足そうな顔が嬉しかったです。先生の指導で子どもたちの成長はいかようにもなる。改めて、どんな学ばせ方をさせたらいいのか？私たちに課せられた課題は大きいと感じました。

へび長！

へびの抜け殻に興味をもった子どもたちが、ラミネートに挑戦しました。

教頭先生に手伝ってもらって、くしゃくしゃになっていた抜け殻を、水に濡らして、丁寧に延ばすと、こんなに長くなりました。よく見ると、目の周りもきれいに脱皮した様子が分かります。

それをラミネートフィルムに挟み、準備OK。ちなみにA3ラミネートフィルム2.5枚分になりました。いよいよラミネートです。「出てきた！出てきた！」ラミネートするとよりうろこやおなかのひだの様子がよく分かって標本のようにになりました。興味をもったことを「追究」したいと思う気持ちを、大切に育てていきたいと思えます。



今日の給食は冷やしうどん！

暑い夏にはおすすめの冷やしうどんが今日のメニューでした。麺も冷えています、つゆも冷えています。野菜を乗せて、かき揚げをのせて、つゆをかけて、マヨネーズをかけたらできあがりです。暑くて食欲がなくなりがちですが、冷たくてつるつると気持ちよくおなかに入っていくうどん。残りの1学期もなんとか元気に乗り切れそうです！



七夕さま、どうか願いを叶えてね！

生活科で「七夕かざり」を作った1年生。昔は、里芋の葉っぱに集まる天の水で墨をすって短冊を書いたということですが、子どもたちは鉛筆で思い思いに願いごとをしたため、飾りました。最後は、その願いを天に届けるために、「七夕送り」を行います。川に流すやり方もありますが、燃やすというやり方もあります。1年生はみんなで燃やして願いを天に届けました。昔から行われてきた行事が受け継がれなくなっていくと、生活科では昔ながらの伝統行事を体験することも学習に入っています。なんとか、大切な日本の文化を大切に守っていききたいと思えます。